

審判の日は終に來た 總意の反映は如何?

秋霖蕭條四藩に暗き今二十五日
縣會議員最後の清算

郡下四萬の選挙大衆がその合同行為によつて國家
機關縣會議員を任命の日である。夜半の豪雨に明
けた。此日は朝露依然降り降り降り、外の事なら
出足も鈍らうが、貴い一票を行使の日として陰鬱な
天候にも怯まず、最後の公正を警告する鐘やサイ
レンの鳴り出す。刻頃から赤心一票に緊張した有
権者の姿は、雨にそぼり作らるも「選べ人物活かせ
一票」と選挙婦人聯合會の看板威しい投票所正
門附近に見えて八時薄陽が雲を洩れる頃から漸
次正第一回の選挙情勢は刻々と本格化し行く

二時迄に七割強

早いのは一時半から

平投票所點景

平投票所、町會議事堂が見えないのが一寸淋しい
注連縄張りの入口から四時—五時頃になつて續
赤、紫、白三つの入口を入
と吏員總掛りの名簿對照
投票用紙交付、東窓ざむに
投られた投票記帳所が十
六ヶ所、選命を決する玉手
箱が中央に注連縄で儼
然と据えてある傍には縣官
町長、助役、八候補の立會
人が投せられる一票毎に神
經質なまなざしで凝乎を見
つめてゐる

明日は大体回復

良くも降つたり坪二石

小名濱測候所の雨勘定

計りかけて係員の度胸を抜
いた連中、正七時—正九時の
鐘を合圖にトツプを切つた
のは紺屋町の町議吉田寅之
助さん(赤組)と城山の大工
さんの柴田長之助さん(紫)
それから長橋の野菜屋さん
の高子敬藏さん(赤)だ、早
近卒の大雨であつた。之で
いので名物の飯田近治さん
悉皆降り切つたか?、小名

秩父大隊長 宮の御仁慈に 及川一等兵(出身)感激

疾病除除にお菓子拜受

秩父大隊長官殿下
には歩兵第三十一
聯隊に御轉補以來
既に月餘を閲し給ひ常に
部下將兵と辛酸を共に遊
ばされ率先御躬行以て全
員に飽を垂れさせ部下將
兵の上に些少の點にまで

地方一圓を荒した 風伯雨師の狂態

道路崩壊其他被害判明分

昨夜の豪雨により従來降
り續きで水嵩も相當あつた
郡内の各河川は俄然急激な
増水を見て、平土木監督所
調査にかゝる今朝八時現在
の水量は飯川の十五尺を筆
頭

被害は少い見込

農試分場の観測

農作物の被害状況に關し神
谷農試分場では左の如く語
る。自動車の他は舊に還つ
て夜は随分怖ろしい果實の
落果も多かつたらう結實座
の重要なる稲の倒伏は何れ
も相當あつたらう被害だつ
たため人畜には被害な
は少いと思ふ、冠水したか
つた被害はないわけだ云

道路崩壊

一時交通杜絶

小江名に通ずる縣道より
約八寸餘、白水川の氾濫に
一坪附近に
約八寸餘、白水川の氾濫に
一坪附近に

金風颯爽の櫻ケ岡に 躍る健康新日本女性

神嘗祭の恒例大運動會

警城高女では第二十二回の
今年度陸上運動會を例年通
り來月十七日の神嘗祭をト
り同校校庭に開催するが呼
物の郡下小學生女四百名繼
走並に百米競走に出場の各
校では早くも練習を開始し
てをり十年來降らずの好天
日に恵まれ盛況を呈するも
のを見られてゐる、なほ四
百米競走の昨年優勝は平第
二校、同じく百米競走は植
田校であつた

梨子品評會

愈々明日から

石城郡農會の梨子品評會は
既報の如く愈々明日二十六
日から二日間平野會議室で開
かれるが出荷は大体二百點
二十七日朝から即賣を行ひ
同時から優秀品に對する
褒賞授與式を平野團體事務所
に舉行する
尙同會幹旋による共同出
荷は昨今非々出初此程
平野、小川兩村より各一
車八噸入りを東京方面に
送つた、郡内の生産額六
十萬圓の約二分の一は共
同出荷でドン／＼中央に
送られ石城梨子の聲價を
擧げてゐる

唯野氏別宴

廿九日住吉屋で

郡山稅務署長に榮轉した唯
野善八氏歡送のため香沼平
町長、野崎滿藏、山崎清三
齊藤敬實四氏發起で二十九
日午後五時から住吉屋本店
を前に各職員敬苦笑を洩ら
してゐる
校内で流行歌を唱はぬ
鐵橋を渡る、夜遊、買
喰、渾名、落書、面中遊
び等せぬ、お掃除は慎重
に、他人の家の庭中など
通らぬ、稻その他の農作
物を愛護する、公園神社
佛閣等の建物、樹木等を
傷めぬ、神佛目上への禮
を大切に以下略

この日の國

第一學校組長會の
可愛い決議申合

第一學校組長會の
可愛い決議申合
可愛決議申合
可愛決議申合

晚秋繭取引 五十圓見當

四倉市場再開

高値四十六圓三十錢と云ふ
春繭以來の高値を現して休
場中だつた四倉市場は愈々

票得者補候各舉選員議會縣

町村名	有権者數	進沼	野崎	小野	草野	小松	赤津	齊藤	關内	栗權
町村名	有権者數	進沼	野崎	小野	草野	小松	赤津	齊藤	關内	栗權
平	四三三									
飯野	六〇六									
鹿島	三九〇									
江名	一三三									
豊間	七五									
高久	五五									
夏井	五五									
神谷	七〇									
草野	六三									
大浦	八三									
四倉	一四三									
大野	七五									
平窪	六五									
赤井	一三三									
小川	九三									
小川	九三									
川前	六五									
三坂	八五									
厚波	六五									
好問	二四三									
内郷	四三三									
湯本	二六四									
警崎	一〇三									
上遠野	三〇									
入遠野	八五									
入田	一〇〇									
外三村	一〇〇									
川部	七五									
勿來	一三三									
錦	六五									
山田	六五									
植田	一七二									
渡邊	四三									
泉	八三									
玉川	四三									
小名濱	二二六									
計	四、六六									

候補者(イロハ順)

松村醫院
院長 松村鐵郎
平町南町電一〇七

會を開き各時間の批評を他自宅(大神宮南)を増設築育部會から派山會長、千葉
校職員に責任批評を求むるして二十五日より産婦人 西山兩副會長出席する
新様式で結果を期待されて
科醫院を開業一般診察を始
めた、入院の需めにも應ず
ると
最近迄
産婦科開業 警城共
時局講習會出席 外交團
二日午後四時頃郡山縣待合
方女給高橋きよ子(二)は廿
丁目天地カフエー高橋タケ
待合で盗まる。平町三
前交番に届出でた
告